

1 次の計算をしなさい。

(1) $(-4)^2 - \{8 - (-2)\} \div 5$

$= 16 - (8+2) \div 5$
 $= 16 - 10 \div 5$
 $= 16 - 2$
 $= 14$

(2) $\frac{2x-3}{5} - \frac{x-4}{3}$

$= \frac{3(2x-3) - 5(x-4)}{15}$
 $= \frac{6x-9-5x+20}{15}$
 $= \frac{x+11}{15}$

(3) $2016 \times 2015 - 2016 \times 2014 + 2016$

$= 2016 \times (2015 - 2014 + 1)$
 $= 2016 \times 2$
 $= 4032$

(4) $(3\sqrt{3} - \frac{3}{\sqrt{3}})^2$

$= (3\sqrt{3} - \frac{3\sqrt{3}}{3})^2$
 $= (3\sqrt{3} - \sqrt{3})^2$
 $= (2\sqrt{3})^2$
 $= 4 \times 3$
 $= 12$

2 次の問いに答えなさい。

(1) 3つの数A, B, Cがあります。AとBの積は正の数、AとCの積は正の数、AとBとCの3つの積は負の数です。このとき、A, B, Cのうち、負の数をすべて記号で答えなさい。

AB > 0, AC > 0より、A, B, Cはすべて正の数またはすべて負の数。ABC < 0より、A, B, Cはすべて負の数。

A, B, C

(2) ある自然数から2を引いて2乗したものが、その自然数に28を加えたものに等しくなりました。この自然数を求めなさい。

ある自然数をxとして、

$(x-2)^2 = x+28, x^2 - 4x + 4 = x+28, x^2 - 5x - 24 = 0,$
 $(x+3)(x-8) = 0, x = -3, 8, x$ は自然数なので $x = 8$

(3) 絶対値が5.7以上8以下となる整数は何個あるか答えなさい。

$\pm 6, \pm 7, \pm 8$ 6個

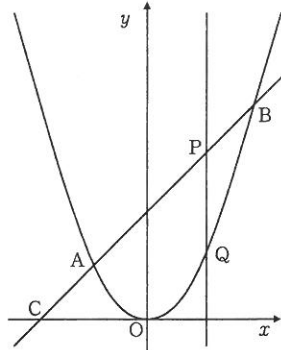
(4) 5^n を計算したときの、十の位と一の位の数答えなさい。

$5^2 = 25, 5^3 = 125, 5^4 = 625, 5^5 = 3125, \dots$

以降下2桁は常に25になる。

十の位は2, 一の位は5

3 図のように、放物線と直線が2点A, Bで交わっている。点A(-2, 2), 点Bのx座標は4である。いま、線分ABと交わるようにy軸に平行な直線を引き、線分AB, 放物線との交点をそれぞれP, Qとする。ただし、点Pのx座標は正とする。また直線ABとx軸との交点をCとすると、次の問いに答えなさい。



(1) 放物線の式を答えなさい。

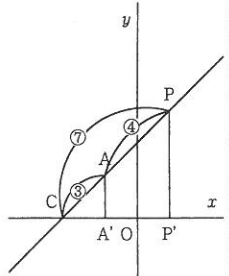
$y = ax^2$ に(-2, 2)を代入
 $2 = a \times (-2)^2, 4a = 2$
 $a = \frac{1}{2} \quad y = \frac{1}{2}x^2$

(2) 直線ABの式を求めなさい。

$y = \frac{1}{2}x^2$ にx=4を代入。 $y = \frac{1}{2} \times 4^2 = 8, B(4, 8)$
直線の傾き $a = \frac{8-2}{4-(-2)} = \frac{6}{6} = 1, y = x+b$ に(4, 8)を代入
 $8 = 4+b, b = 4$
 $y = x+4$

(3) CA : AP = 3 : 4のとき、点Pの座標を求めなさい。

点A, 点Pからx軸に垂線を下ろし、x軸上の交点を点A', 点P'とする。
 $\triangle ACA' \sim \triangle PCP'$ で
 $AA' : PP' = CA : CP = 3 : 7$ なので、
点Pのy座標は、 $2 : y = 3 : 7,$
 $3y = 14, y = \frac{14}{3}$
 $y = \frac{14}{3}$ を $y = x+4$ に代入。 $\frac{14}{3} = x+4,$
 $x = \frac{14}{3} - \frac{12}{3} = \frac{2}{3}$
点P $(\frac{2}{3}, \frac{14}{3})$



(4) PQの長さが $\frac{5}{2}$ のとき、点Pの座標を求めなさい。

PQ = (y座標で) 上-下
点P(t, t+4), 点Q(t, $\frac{1}{2}t^2$)とすると、
PQ = 上-下 = $t+4 - \frac{1}{2}t^2$
 $t+4 - \frac{1}{2}t^2 = \frac{5}{2}, 2t+8-t^2=5, -t^2+2t+3=0$
 $t^2-2t-3=0, (t+1)(t-3)=0, t > 0$ より、 $t=3$
点P (3, 7)

4 A君とB君が1周400mのトラックを走った。A君が1周する時間とB君が1周する時間を合わせると3分12秒だった。今、2人は同時にスタートして10周走ることになったが、A君は200mごとに8秒間の休みを入れ、B君は400mごとに10秒間の休みを入れたところ、A君がゴールして18秒後にB君がゴールした。

(1) A君が400m走る時間をx秒、B君が400m走る時間をy秒として、連立方程式を作った。(ア), (イ)に適する式を書きなさい。

{ (ア) = 192
(イ) = -8

(A1周の時間) + (B1周の時間) = 3分12秒 = 192秒
よって、 $x+y=192$

(A10周の時間) + 18秒 = (B10周の時間)

Aは200mごとに8秒休むので、 $10x+8 \times 19 = 10x+152$ 秒
Bは400mごとに10秒休むので、 $10y+10 \times 9 = 10y+90$ 秒
 $10x+152+18 = 10y+90, 10x-10y = -80, x-y = -8$

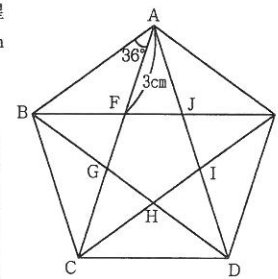
(ア) $x+y$ (イ) $x-y$

(2) A君とB君が400m走る時間をそれぞれ求めなさい。

{ $x+y=192$ ①
 $x-y=-8$ ②
①+② $2x=184, x=92$
①に代入 $92+y=192, y=100$

A君92秒(1分32秒), B君100秒(1分40秒)

5 正五角形ABCDEの中に図のような星の形をつくった。∠BAC = 36°, AF = 3cmのとき、次の問いに答えなさい。



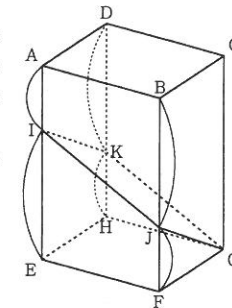
(1) ∠ADEを求めなさい。

正五角形の内角の和は $180(5-2) = 540^\circ$
1つの内角は $540 \div 5 = 108^\circ$
△EADは二等辺三角形なので
 $\angle ADE = (180 - 108) \div 2 = 36^\circ$

(2) AJ + IDを求めなさい。

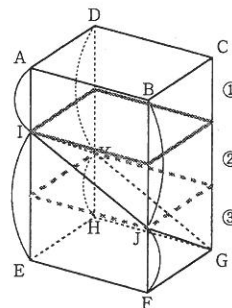
AJ = 3cm, ID = 3cmなので
 $3 + 3 = 6$ cm

6 直方体ABCD-EFGHがある。辺AEを1:2に分ける点をI, 辺BFを2:1に分ける点をJ, 辺DHを2:1に分ける点をKとする。直方体ABCD-EFGHを断面が四角形IJGKとなるように切断するとき、上の立体を(ア), 下の立体を(イ)とする。以下の問いに答えなさい。



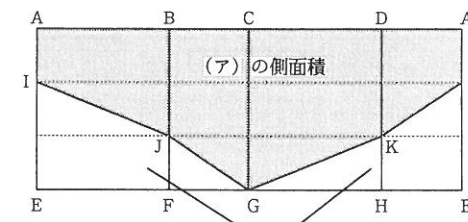
(1) 立体(ア)と立体(イ)の体積比を求めなさい。

右の図のように、直方体を上から3等分(①, ②, ③)する。一番上①を取り除いてみると、②③をIJGKによって分けられた2つの部分の体積は同じ。よって、(ア) : (イ) は $(1+1) : 1 = 2 : 1$



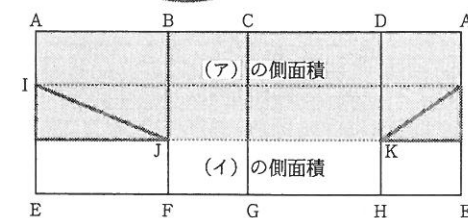
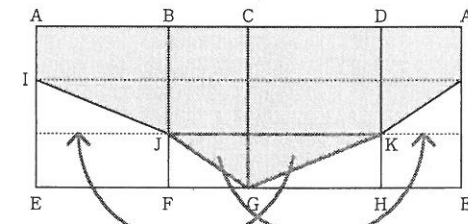
(2) 立体(ア)と立体(イ)について、底面をそれぞれABCDとEFGHとすると、立体の側面積(底面と切断面を除く)の比を求めなさい。

展開図(側面の部分のみ)をかいて比較する。



(イ)の側面積

このままでは比較しにくいので、図形を一部移動して



上の図のようになるので、側面積の比は 2 : 1